

K P U の加盟承認について

連合東京に見解書を提出

(東京地連)

2012年7月2日 K P U加盟承認について全自交東京地連が、連合東京に見解書を提出

6月20日に開かれた連合東京の第8回執行委員会で、K P U東京の直加盟が承認されたことについて全自交東京地連は、手続きに疑義を唱え、連合東京に対し別掲の見解書を提出しました。K P U東京の連合東京に対する加盟申請書では、4月19日の臨時大会（K P U東京結成大会）で連合東京加盟を決定したことでありますが、その事実はありません。当のK P U自体が7月4日にわざわざ臨時大会を開いて連合加盟を確認しているのです。K P U東京は自らの規約に違反し、すなわち上部団体加盟の大会決定を行うことなく、連合東京に虚偽の申請を行って、加盟申請を取り付けたのです。全自交東京地連の見解は、この事実を明らかにし、連合東京の再考を望んでのものであります。

2012年7月2日

日本労働組合総連合会
東京都連合会
(連合東京)
会長 大野 博 様

全国自動車交通労働組合
東京地方連合会
執行委員長 大和田 正樹

「K P U東京地連」直加盟に関する見解

冠省、日頃のご指導、ご鞭撻に感謝を申し上げます。

連合東京第8回執行委員会で「K P U東京地連」の直加盟が確認されました。連合の構成組織である全自交労連から統制処分された団体が、連合の地方組織に直加盟とは言え、加盟が認められたことに対して、当然のこととして私たちは強く異議を唱えます。本来なら執行委員会の議題に載せられる前に話があつてしかるべきと認識しています。事前に当事者である私どもに一切相談がなく直加盟の準備が進められたことは誠に遺憾であります。

さらに、連合東京への4月19日付、「K P U東京地連」からの加盟申請書には、同日の臨時大会で連合東京加盟を決定したとありますが、その事実はないと聞き及んでいます。そうであれば、最高議決機関の議を経ずして上部団体の加盟を申請した行為、また、彼ら自身の規約にも抵触する行為を連合東京が追認すること自体に大きな疑問が生じます。大会で決議されていない加盟の申請を堂々と出す神経を疑います。

ちなみに、同じく4月19日に結成された「K P U中央本部」は改めて7月4日に臨時大会を開催し、連合への加盟を決議すると伝えられています。

全自交東京地連は、このような瑕疵がある連合東京の第8回執行委員会の決定が再考されることを希望して見解と致します。